



考える

^{たんまつ}端末を使うと、いろいろな視点^{してん}で考えたり、調べたことをまとめたりなど、考えることを補助^{ほじょ}することができます。ここでは、^{たんまつ}端末を使って考えるときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- ^{わたし}私は、上手な情報^{じょうほう}の分類の方法について知っていると思う
- ^{わたし}私は、データからどんなことが言えるかを分析^{ぶんせき}できると思う
- ^{わたし}私は、^{たんまつ}端末をどんなことに、どのくらいの時間使っているか知っていると思う
- ^{わたし}私は、いろいろなデータをきちんと読み解^よくことができると思う

ネットで「外国人向けの日本の情報」について検索したところ、次のような情報が集まりました。
どのように分類できるか考えましょう。

- 1 日本の美味しい食べ物
- 2 しずおか静岡のお茶
- 3 北海道で雪遊び
- 4 ふくそう冬の服装
- 5 人力車
- 6 東京の美味しいおすし
- 7 ふくそう夏の服装
- 8 京都のお寺
- 9 スイカわり
- 10 しんかんせん新幹線

| 分類 | 検索結果のサイト番号 |
|--------|------------------------------------|
| 例) 食べ物 | ①日本の美味しい食べ物、 ⑥東京の美味しいおすし、⑨スイカわり |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

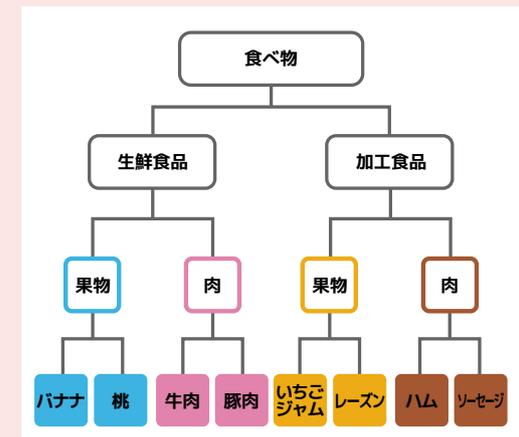


かいとうれい
解答例

| 分類 | けんさくけっか 検索結果のサイト番号 |
|------------|---|
| 乗り物 | ⑤人力車、⑩新幹線 <small>しんかんせん</small> |
| 観光 | ②静岡のお茶 <small>しずおか</small> 、③北海道で雪遊び、 ⑧京都のお寺 |
| ふくそう 服装 | ④冬の服装 <small>ふくそう</small> 、⑦夏の服装 <small>ふくそう</small> |
| 場所 | ②静岡のお茶 <small>しずおか</small> 、③北海道で雪遊び、 ⑥東京の美味しいお寿司、⑧京都のお寺 |
| 遊び | ③北海道で雪遊び、⑨スイカわり |

☆ スキルのポイント

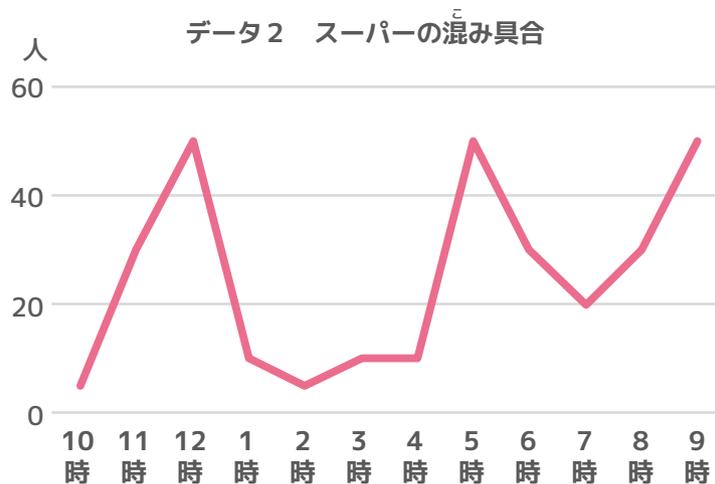
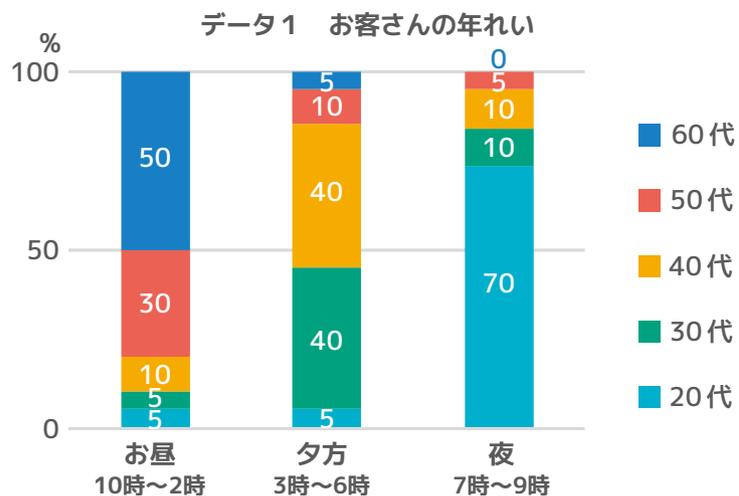
じょうほう
情報を上手にまとめるためには、「どちらがより広い範囲はんいのことを指すか。」と考
えるとよいでしょう。例えば、「バナナ」、「果物」、「食べ物」は、どれが一番広
い範囲はんいを指す言葉でしょうか。これはもちろん「食べ物」です。「食べ物」には「果
物」や「バナナ」以外の肉や魚なども含まれるからふくです。その次が「果物」、最後
に「バナナ」ですね。このような関係は、右のような図ひょうげんで表現することができます。



データからどんなことが言えるかな

次の2つのグラフは、あるスーパーのお客さんのデータです。

これを見て、「データから言えること」と「データから言えないこと」にわけてみよう。



1 お昼の12時は60代のお客さんで混んでいる

2 お昼の2時は60代のお客さんで混んでいる

3 夕方の5時は20代のお客さんで混んでいる

4 夜の9時は20代のお客さんで混んでいる

データから言える **A**

B データからは言えない

せいがい
正解

データから言える **A**

1 お昼の12時は60代のお客さんで混んでいる

4 夜の9時は20代のお客さんで混んでいる

B データからは言えない

2 お昼の2時は60代のお客さんで混んでいる

3 夕方の5時は20代のお客さんで混んでいる

 スキルのポイント

「お客さんの年れい」のグラフからわかることは、お昼は60代がお客さんが多く、夕方は30代、40代が多く、夜は20代が多いことです。

「スーパーの混み具合」のグラフからわかることは、お昼の12時と夕方の5時と夜の9時が混んでいるということです。

「スーパーの混み具合」からお昼の2時はスーパーが混んでいないことがわかります。また、「お客さんの年れい」から夕方の時間帯は20代のお客さんが少ないことがわかります。

使いすぎていないかな

みなさんは1人1台^{たんまつ}端末を何に使う時間が一番長いと思いますか。
自分が使っていると思う時間が長い順にならべてみましょう。

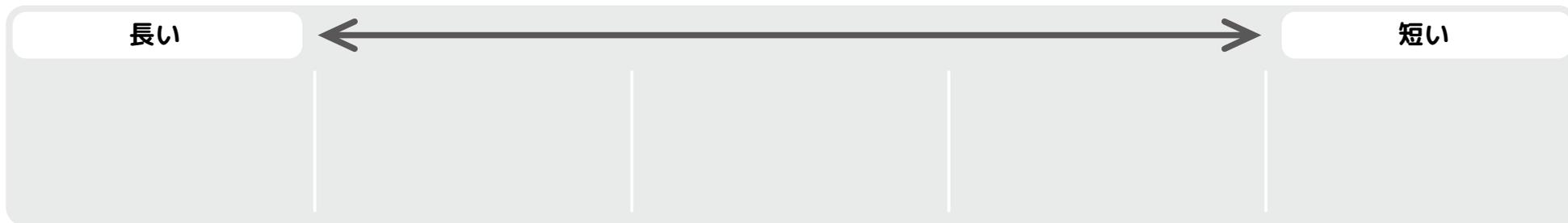
1
何かを調べる時間

2
動画を見る時間

3
ドリルなどで
考えたり、回答する時間

4
プログラミングや
資料など、
何かをつくる時間

5
だれ
誰かと
チャットする時間





★ スキルのポイント

使いすぎを防ぐためには、^{たんまつ}端末を使って、どのようなことをしているのか、**まずは自分の^{じょうきょう}状況を確認することが大切です。**

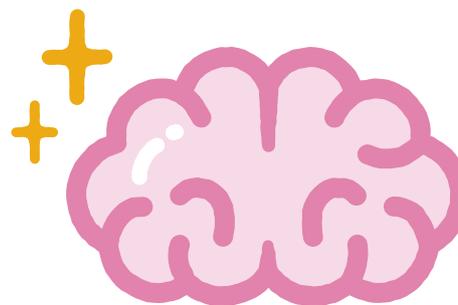
これは自分のスマホでも同じです。自分が何をどのくらいの時間使っているのか、^{じょうきょう}状況を確認してみましょう。

また、それが学習のためなのか、楽しみのためなのか、ひまつぶしのためなのかを整理してみると、どの時間をどの程度^{ていど}増やしたり、減らしたりすることがよいのかのヒントになります。学校から^か貸し出されている^{たんまつ}端末では、学習に関係あることかどうか、自分で^{はんだん}判断して使えるようになりましょう。

あなたが^{たんまつ}端末で、「テストの点数を上げる方法」についてインターネットで調べていると、次のサイトを見つけました。
このサイトの^{ないよう}内容はすべて信じてよいのでしょうか。
このサイトのおかしなところに○をつけて、その理由を書いてみましょう。

＼ あの人気 Youtuber も使っている！ /

頭が良くなる
サプリ



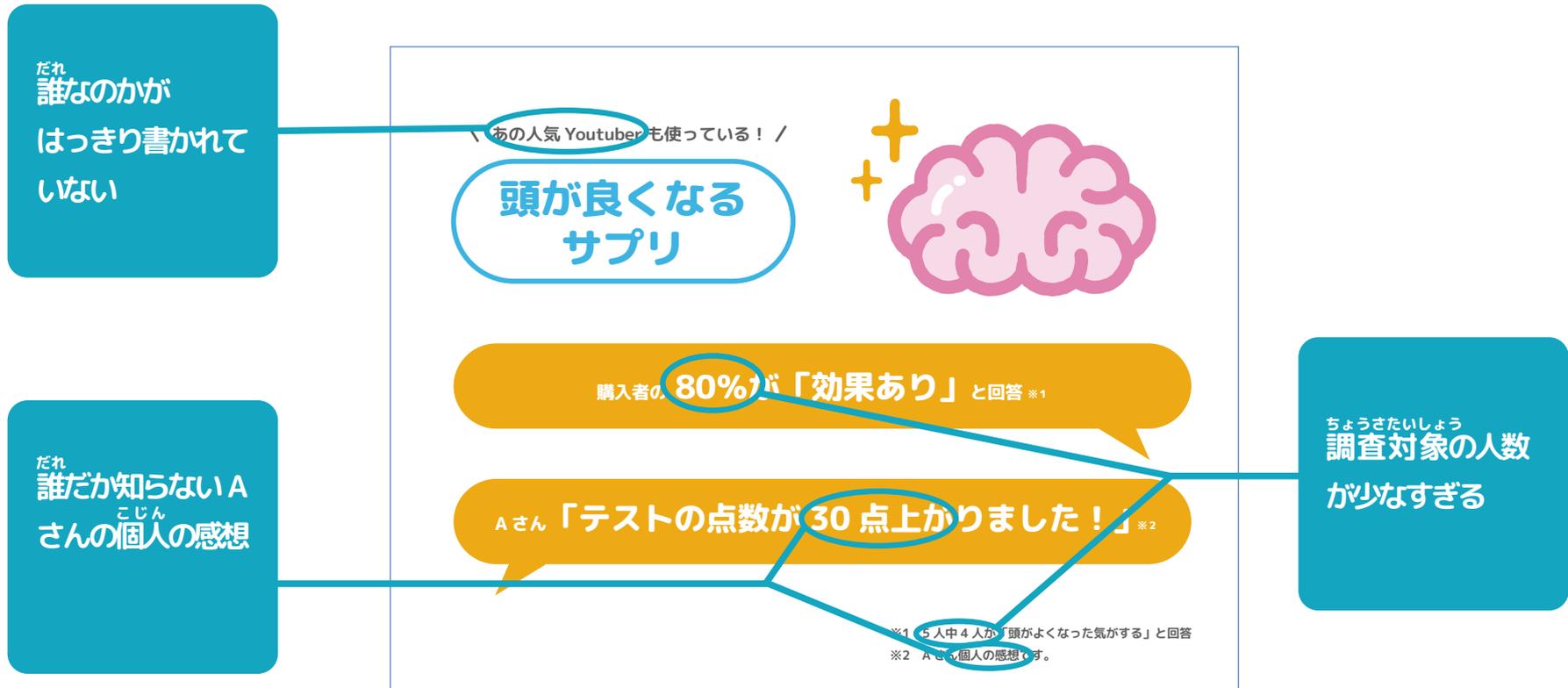
購入者の 80%が「効果あり」と回答 ※1

Aさん「テストの点数が 30 点上がりました！」 ※2

※1 5人中4人が「頭がよくなった気がする」と回答

※2 Aさん個人の感想です。





☆ スキルのポイント

こうしたデータを読み解く場合には、「何人に聞いたのか？」を意識する必要があります。

これだけ見ると、全体の80%がテストの点が30点上がっているように思いますが、小さい文字をよく読むと、30点上がったのはAさんの感想で、80%もわずか5人に聞いたものです。

さらに、5人中4人の回答も「頭がよくなった気がする」というあいまいな内容です。データを見て考えるときには、「どんな人に聞いたのか。」「何人に聞いたのか。」などを確認し、あまりに少ない人を対象にしたものは、信頼性が低いと考えるようにしましょう。



考える

まとめ

よき使い手になるために

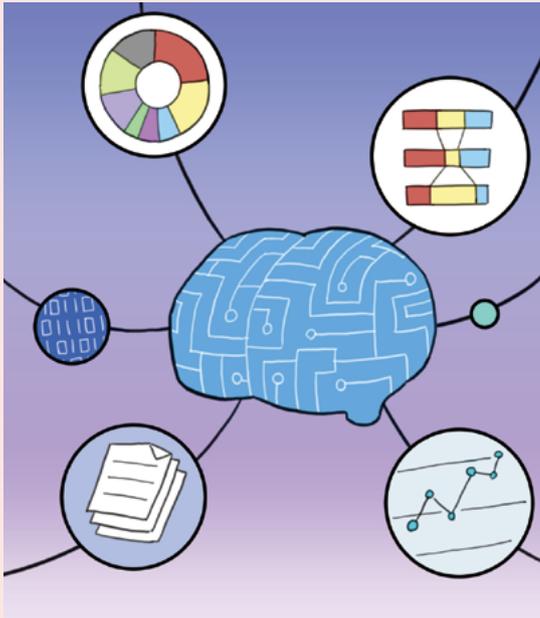
「考える」ためには、^{じょうほう}情報を整理しておくことが重要です。その整理をするためには、^{たんまつ}端末は^{ゆうこう}有効な^{しゅだん}手段になります。もちろん、じっくり考えたいときは、^{たんまつ}端末ではなく、紙とえんぴつの方が考えやすいこともあります。「考える」ために、どの方法がもっともよいのかを考えてみましょう。

チェックしてみよう

- ^{わたし}私は、^{じょうほう}上手な情報の分類の方法について説明できる
- ^{わたし}私は、データからどんなことが言えるかを^{ぶんせき}分析できる
- ^{わたし}私は、^{たんまつ}端末をどんなことに、どのくらいの時間使っているか説明できる
- ^{わたし}私は、いろいろなデータをきちんと^よ読み^と解くことができる



これからの社会では



AI（人工知能）は「考える」ことが得意なのでしょうか？ AI が得意な「考える」ことには、たくさんの情報を分析し、そこから考える（予測する）ことが挙げられます。例えば、たくさんの売上に関する情報を分析し、明日この商品がどれくらい売れるかを予想することは、AI が得意としています。AI は、「たくさんの情報を覚えたり、与えられた問題を考えたりする」ことが得意なのです。

考えてみよう①

人間よりも AI が向いていることには、どのようなことがあるだろうか？

考えてみよう②

AI よりも人間が得意なこと、人間にしかできないことは、どのようなことがあるだろうか？